

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	16
------	----

事業名	いきいきちばっ子食育推進事業		
担当課・室・班名	教)学校安全保健課	問合せ先(電話番号)	4095

1 事業の概要

柱	I	基本目標	1	基本方策	②健康と安心の確保					
事業内容	「ちばの食」を通じて子どもたちの健やかな体を育むとともに、規則正しい生活習慣を身につけさせるため、食育ノートの活用や体験型の食育活動を行うなど、学校における食育を推進する。									
当初予算額(千円)	H30年度	2,200	R元年度	2,274	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		1,079								
財源内訳	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源
	O		O							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・5つの教育事務所毎に食に関する指導事業地区別研究協議会を実施、5教育事務所を会場に、1,129名(うち、管理職382名)が参加。各学校における食育の推進や衛生管理等の周知徹底を図った。
 ・食育指導推進拠点校18校のうち、9校で授業公開、授業研究協議会(情報交換等含む)を実施、食育推進のリーダーとしての資質向上に繋がるとともに地域における食育推進を図った。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業を、県立高等学校2校、小・中学校6校で実施。H29年度の小中高連携の実践等については、研修会等で紹介した。

(2)事業の成果

・地区別研究協議会では、県の施策や推進拠点校等の実践について学ぶことができ、学校における食育の重要性を図ることができた。
 ・推進拠点校の実態や地域の特色を生かした授業公開では、参観した先生方の資質向上のほか、食に関する指導や体制づくりについて考える場となり、推進拠点校及び推進委員が地域での推進役として効果をあげた。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、高等学校の圃場を効果的に活用し、支援校・協力校とともに、それぞれの発達段階に応じた関りの中で、体験活動を伴った食育を充実させた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・地区別研究協議会では、「第3次千葉県食育推進計画」で示されている取組や施策等の確認をし、各学校における食育がより一層充実するよう進める。また、衛生管理や食物アレルギー対応についても取上げ、事故防止に向け校内体制の整備が図れるよう、周知徹底を進めていく。
 ・栄養教諭を中心とした食育のよりよい実践の継続のため、今後も地区別研究協議会や公開授業研究会等で栄養教諭等同士の情報交換等の機会を絶やさないよう進めていく。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、様々な研修会等で実践を紹介する機会を設けるよう進める。

○参考

関連指標	[基本的生活習慣の形成] 朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>						目標	増加を目指します
	基準年(H29)	H30	R1	R2	R3	R4		
	小学校6年生 95.2%	小学校6年生 94.1%						
	中学校3年生 92.2%	中学校3年生 90.8%						

4 委員意見

5 担当課回答

--	--